

部屋をダサくするインテリアの要素について

1 背景と目的

今日部屋をおしゃれにする方法をまとめた書籍やインターネットサイトは数多い。一方で、なぜ部屋がダサくなるかについてはあまり触れられていないことに気がつき、興味をもった。本研究は、この部屋をダサくしてしまうインテリアの要素は何かを明らかにすることを目的とする。

2 「ダサイ」の定義

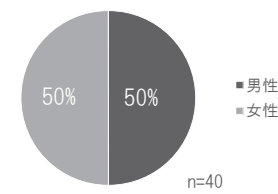
本研究ではそのインテリアがあることによって、部屋の印象が悪くなる場合やネガティブなイメージを抱いた場合を、ダサイと定義する。

3 調査方法

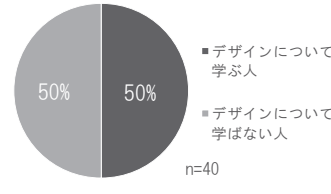
形式：アンケート調査と面接調査

調査対象者：大学生 40 人

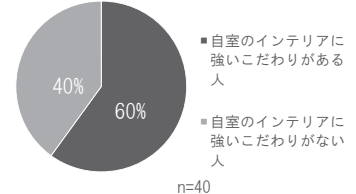
調査日：2016年9月12日～9月30日



【図1】男女比



【図2】デザインについて学んでいる人と学んでいない人の割合



【図3】自室のインテリアに強いこだわりがある人と強いこだわりがない人の割合

4 調査内容

部屋をおしゃれにするインテリアの情報をまとめた書籍を元に、逆に部屋をダサくしてしまうインテリアの要素とは以下の8つの要素ではないかと仮説を立てた。

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. インテリアの色 | 5. 雑貨・小物 |
| 2. インテリアの柄 | 6. 部屋の主の個性を示すインテリア |
| 3. インテリアのテイスト | 7. 部屋の主に対する印象 |
| 4. 家具 | 8. 清潔感 |

また、これら8つの要素がどのような状態である場合、ダサイと考えるかを明らかにするための仮説も立て、これらをもとに質問項目を作成した。

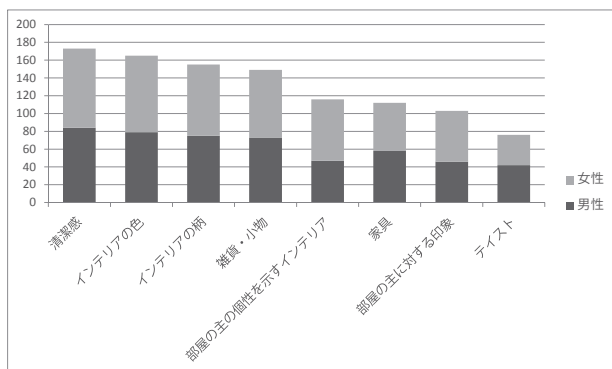
アンケート調査	面接調査
調査対象者の属性	部屋をダサくしてしまうインテリアとは具体的に何であると思うか
8つのインテリアの要素が部屋のセンスの良し悪しを判断する際の影響の程度	8つのインテリアの要素がなぜ部屋をダサくしてしまうのか
使用方法次第では部屋をダサくすると思う要素を順位別に3つ	

【表1】調査の質問項目のまとめ

5 アンケート結果

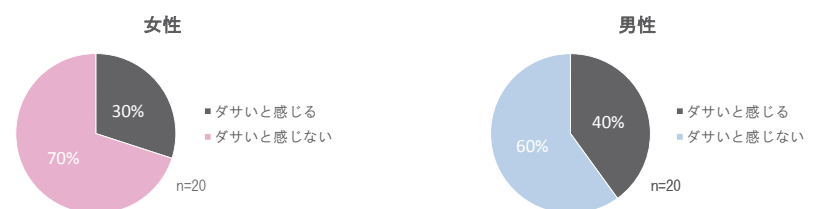
部屋をダサくするインテリアの要素に対する男女の考え方

- **男女ともに部屋のセンスの良し悪しを左右する影響度が高いと考えられている要素は、清潔感、インテリアの色、インテリアの柄、雑貨・小物**

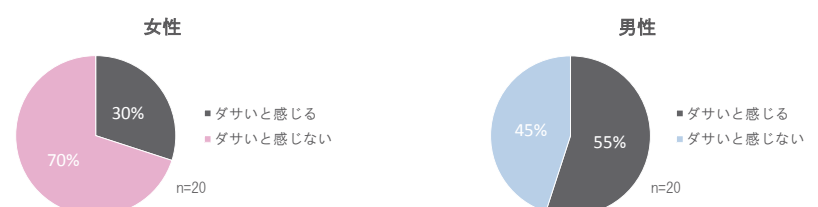


【図4】部屋のセンスの良し悪しを左右するインテリアの要素（男女）

- **男性は女性と比べてインテリア一つ一つの特徴からダサイかどうかを判断する割合が高い**

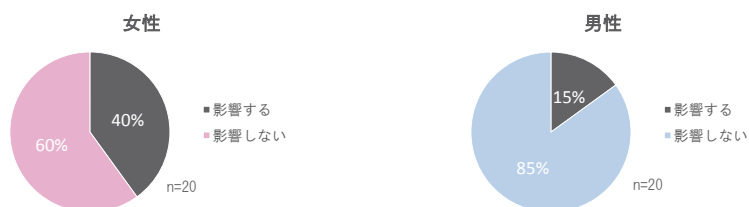


【図5】柄自体がダサイ場合にダサイと感じる人の男女別の割合



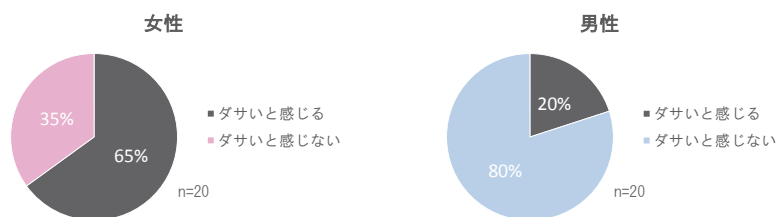
【図6】雑貨・小物のデザイン自体がダサイ場合にダサイと感じる人の男女別の割合

■ **女性は部屋の持ち主がどういう人であるかということも、インテリアのダサさの判断基準となる**



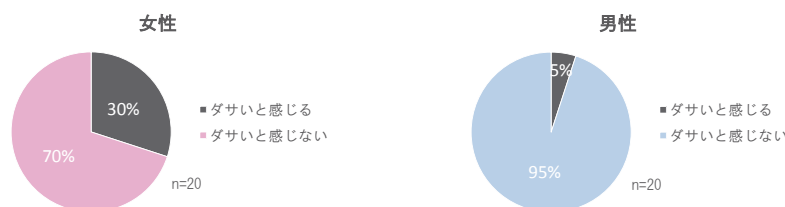
【図7】部屋の主に対する印象は部屋のダサさに影響するかどうか男女別の割合

■ **女性のほうが匂いが臭い場合に部屋がダサいと感じる**



【図9】匂いが臭い場合に、部屋がダサいと感じかどうかの男女比

■ **女性のほうが部屋の主の個性を示すインテリアがオタクっぽい場合に部屋がダサいと感じる**

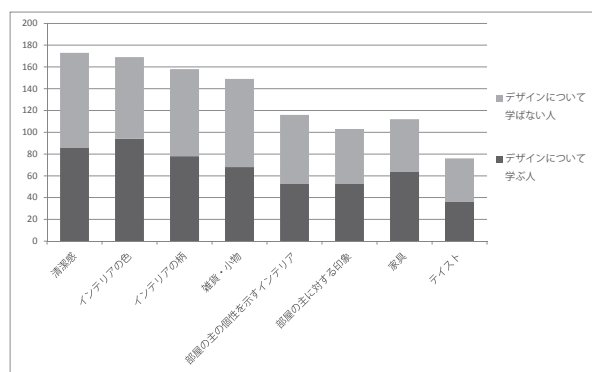


【図8】部屋の主の個性を示すインテリアがオタクっぽい場合に、部屋がダサいと感じる人の男女比

上記の結果から、男性はインテリア一つ一つに着目する一方で、女性は部屋全体の調和によってダサさを判断すると分かった。また、女性は部屋の匂いや部屋の主に対する印象などの、目に見えないインテリアの要素をダサさの判断基準として考える傾向があると分かった。

部屋をダサくするインテリアの要素に対するデザインについて学ぶ人と学ばない人の考え方

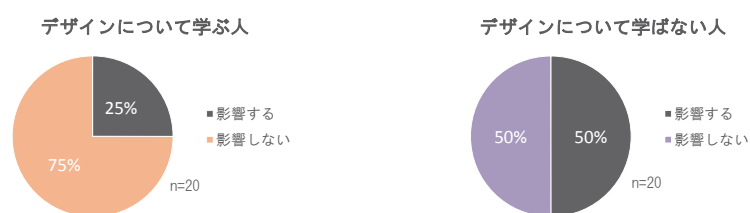
■ **デザイン系の学生はそれ以外の学生に比べてインテリアの色に着目する傾向がある**



【図10】部屋のセンスの良し悪しを左右するインテリアの要素 (デザインについて学ぶ人と学ばない人)

- デザイン系の学生の95%がインテリアの色が部屋のダサさに影響すると回答しており、色は非常に重要な要素であると考えられている

■ **デザイン系の学生ではない人は、部屋の主の個性を示すインテリアが部屋をダサくすると考える**



【図11】部屋の主の個性を示すインテリアが、部屋のダサさに影響するかどうかデザインを学ぶ人と学ばない人の割合

上記の結果から、デザイン系の学生は学生生活で学んだことがダサさの判断基準に関わること分かった。特に、インテリアの色や家具など目に見えるインテリアの要素が、部屋のセンスの良し悪しにどの程度影響するかは大きく差が出ることとなった。

部屋をダサくするインテリアの要素に対する自室のインテリアに強いこだわりがある人とない人の考え方

■ **自室に趣味の物を置く人は、他人の部屋の趣味の物に対しても寛容**

- 自室に趣味のものを置く人6人は、趣味のものに対する慣れがあるので「自分の部屋が趣味のものだから、抵抗がない」と答えた



【写真1】趣味のもの例①

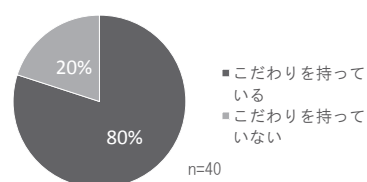


【写真2】趣味のもの例②



【写真3】趣味のもの例③

■ **多くの人がインテリアの要素でこだわりを持つのは清潔感**



【図12】自室の清潔感にこだわりをもっているかどうかの割合



【写真4】清潔感のない部屋

清潔感にこだわりを持っている人の意見

- 清潔感はずっと気にするところ
- 必要最低限のほこりや気になる匂いはなくすように心がけている
- 自分の部屋と同じ程度の清潔感であればいい

6 まとめ

調査の結果、部屋をダサいと感じる状態は、調査対象者の属性で、差が出るようになった。

また、目に見えるインテリアの要素以外に、部屋の主に対する印象のように目に見えない要素もダサさに影響すると明らかになった。

おしゃれなインテリアにするために必要な要素は、インテリアの見え方や色などであった。一方で、今回の研究の結果、部屋をダサくしないために必要なインテリアの要素は、第一に清潔感であることがわかった。好印象を与えるための第一条件と、悪印象を与えないための第一条件は異なることが明らかになった。